

広島市・湯来町現況比較資料

平成 1 6 年 4 月

広 島 市

目 次

	頁
1 広島市・湯来町の概況	1
(1) 歴史	1
(2) 基本構想・基本計画	2
(3) 人口・面積等の現況	3
2 日常生活圏の状況	5
(1) 通勤	5
(2) 通学	5
(3) 入院	6
(4) 通院	6
(5) 買物動向	7
3 都市基盤施設・公共施設の整備状況	8
(1) 都市基盤施設の整備状況	8
(2) 公共施設の設置状況	9
ア 福祉施設	9
イ 保健衛生施設	9
ウ 経済振興施設	10
エ 教育施設	10
オ 文化施設等	10
カ スポーツ施設	11
4 財政状況	12
(1) 財政規模	12
(2) 歳入歳出の状況	13
(3) 起債現在高	17
(4) 基金	18
(5) 財政指標の比較	19
ア 財政力指数	19
イ 経常収支比率	19
ウ 公債費比率	20
エ 地方債残高比率	20
オ 起債制限比率	21

5	財産区	2 2
6	行政組織	2 3
	(1) 議決機関	2 3
	(2) 執行機関	2 4
	(3) 財団法人等	2 8
7	制度・事業比較	2 9
	(1) 地方税	2 9
	ア 税金の種類・税率	2 9
	イ 納期前納付報奨金	3 0
	(2) 福祉	3 1
	ア 児童福祉	3 1
	イ 母子・寡婦・父子福祉	3 6
	ウ 障害者(児)福祉	3 9
	エ 高齢者福祉	5 1
	オ 生活保護・低所得者福祉	6 4
	カ 国民健康保険	6 6
	キ 青少年健全育成	6 9
	ク その他の福祉	7 1
	(3) 保健・衛生	7 3
	ア 保健サービス	7 3
	イ 医療サービス	8 7
	ウ 被爆者対策	9 0
	エ 火葬場・墓地	9 4
	(4) 環境事業	9 5
	ア ごみ処理事業	9 5
	イ し尿・浄化槽汚泥処理事業	9 7
	ウ 環境美化事業	9 8
	(5) 経済振興	9 9
	ア 商工業の振興	9 9
	イ 消費者対策	1 0 8
	ウ 観光の振興	1 1 0
	エ 農業の振興	1 1 2
	オ 林業の振興	1 1 6
	カ 水産業の振興	1 1 9
	(6) 都市計画・まちづくり	1 2 1
	ア 都市計画・まちづくりに関する基本計画	1 2 1
	イ 都市計画区域等の状況	1 2 1

ウ	国土調査	1 2 2
エ	駐車場・駐輪場対策	1 2 2
オ	私道等整備補助	1 2 4
カ	防犯灯・街路灯設置等補助	1 2 5
キ	市街地の再開発等	1 2 5
ク	生活交通路線の維持	1 2 6
ケ	まちづくり推進方策	1 2 6
コ	宅地開発・建築物の指導	1 2 8
サ	公園・緑地等整備	1 3 0
(7)	住宅対策	1 3 1
ア	公営住宅等	1 3 1
イ	優良賃貸住宅の供給	1 3 2
ウ	住宅建設資金等貸付制度	1 3 2
エ	その他の貸付制度	1 3 3
(8)	教育	1 3 4
ア	学校教育	1 3 4
イ	社会教育	1 4 0
(9)	人権啓発	1 4 2
ア	人権意識の啓発	1 4 2
イ	手当・資金	1 4 3
ウ	施設	1 4 3
(10)	男女共同参画の推進	1 4 4
ア	政策・方針の立案及び決定への女性の参画の推進	1 4 4
イ	男女の人権尊重のための教育・学習の充実	1 4 4
ウ	働く場における男女共同参画の推進	1 4 4
エ	女性に対するあらゆる暴力の防止と被害者への支援	1 4 6
オ	その他の男女共同参画施策	1 4 6
(11)	コミュニティ振興	1 4 8
ア	各種行事の開催等による参加意識の醸成	1 4 8
イ	指導者の養成・確保	1 4 8
ウ	コミュニティ活動に対する支援	1 4 9
エ	市民活動の総合支援の推進	1 5 0
オ	コミュニティ施設(会議・集会施設)の整備	1 5 1
(12)	文化・スポーツ振興等	1 5 3
ア	文化・スポーツの推進	1 5 3
イ	文化施設	1 5 4
ウ	スポーツ施設	1 5 9
(13)	高度情報化への対応	1 6 3
ア	情報システムの構築・情報の発信等	1 6 3
イ	行政情報ネットワーク	1 6 5
ウ	産業情報ネットワーク	1 6 6
エ	情報教育の推進	1 6 6

(14)	国際交流・協力	167
	ア 国際感覚の高揚	167
	イ 国際交流の推進	167
	ウ 国際協力	169
(15)	広報・広聴	170
	ア 広報	170
	イ 広聴	171
	ウ 情報公開・個人情報保護	172
(16)	上・下水道	174
	ア 上水道	174
	イ 下水道	176
(17)	消防・防災	179
	ア 消防	179
	イ 防災	180
(18)	その他	183

注 この資料は、原則として、平成16年4月1日を基準日として作成したもの。

1 広島市・湯来町の概況

(1) 歴史

広島市	湯来町
<p>広島市は、明治22年(1889年)4月、全国で最初の市の一つとして市制を施行した。</p> <p>その後、宇品港の築港、山陽鉄道の開通などにより、我が国海陸交通の要衝として繁栄した。次いで、明治27年(1894年)の日清戦争の開戦、明治37年(1904年)の日露戦争の開戦により、広島市は軍事拠点としての性格が強まり、中国地方の政治・経済・文教・交通の中心都市として発展した。</p> <p>その間、明治37年に、仁保島村の宇品島を市域に編入したほか、昭和4年(1929年)には、周辺の仁保村ほか6町村と編入合併を行っている。</p> <p>しかし、昭和20年(1945年)8月6日、世界最初の原子爆弾により、焦土と化し、昭和24年(1949年)施行の「広島平和記念都市建設法」により復興を進め、昭和30～31年(1955年～1956年)にかけて戸坂村ほか2村を編入合併した。</p> <p>また、昭和46年(1971年)の沼田町を皮切りに、安佐町、可部町、祇園町、安古市町、佐東町、高陽町、瀬野川町、白木町、熊野跡村、安芸町、矢野町、船越町を昭和50年(1975年)までに編入合併した。</p> <p>昭和55年(1980年)4月、全国で10番目の政令指定都市に移行し、昭和60年(1985年)には五日市町の編入合併を行い、人口100万人を超えた。</p> <p>平成6年(1994年)には、地方都市で初のアジア競技大会を開催するなど、中四国地方の中核都市として、広域交通体系の整備など都市基盤整備を推進し、賑わいと活力にあふれ、個性と魅力ある都市「ひろしま」の創造に努めている。</p>	<p>湯来町は、昭和31年(1956年)9月30日、砂谷村、上水内村、水内村の3村が合併して発足した。町の名称は、町内外に広く親しまれている「湯来温泉」の名をとった。</p> <p>旧砂谷村は、明治22年(1889年)、白砂村、葛原村、伏谷村が合併したものであり、農業を主とするが、特に酪農が盛んな地域として知られている。また、昭和56年(1981年)分譲開始の「杉並台」をはじめとする住宅団地や工業団地が造成され、広島市のベッドタウンとして発展している。</p> <p>旧上水内村は、明治22年(1889年)、多田村、菅沢村が合併したものであり、林業を主産業としてきた地域です。地域にある「湯来温泉」は、昭和30年(1955年)、「国民保養温泉地」の指定を受けるとともに、昭和41年(1966年)には国民宿舎「湯来ロッジ」が建設され、広島県を代表する温泉地として広く親しまれている。</p> <p>旧水内村は、明治22年(1889年)、和田村、菱谷村、下村が合併したものであり、旧広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」は、湯来温泉とともに「国民保養温泉地」に指定され、平成6年(1994年)には「クアハウス湯の山」が開設している。</p> <p>町では、多彩な資源を生かし、「自然と観光とベッドタウンの調和した田園都市」を目指して、健康で、豊かな、活力とゆとりのある町づくりを推進している。</p>

(2) 基本構想・基本計画

区 分		広 島 市	湯 来 町
基本 構想	名 称	広島市基本構想	第3次湯来町長期総合計画(基本構想)
	都 市 像	国際平和文化都市	自然と観光とベッドタウンの調和した田園都市
	都市発展の 基本方向・ 基本理念等	<p>広島のアイデンティティの形成</p> <p>1 共に生きる人づくり・まちづくり</p> <p>(1) 平和都市にふさわしい人づくり</p> <p>(2) 協働の理念に基づくまちづくり</p> <p>(3) 人と自然が共生するまちづくり</p> <p>2 個性と魅力ある都市「ひろしま」の創造</p> <p>(1) 美しい都市景観の形成</p> <p>(2) 魅力ある都市空間の創造と賑わいの創出</p> <p>(3) 「ひろしま情報」の発信</p> <p>3 世界への展開と広域的な交流と連携の促進</p> <p>(1) 世界都市 HIROSHIMA の形成</p> <p>(2) 広域的な交流と連携の促進</p> <p>施策の構想</p> <p>1 平和をつくりだす、世界に開かれた都市づくり</p> <p>2 水と緑を生かした住みよい都市づくり</p> <p>(1) 環境と共生する都市の創造</p> <p>(2) 安全で、快適な美しい都市の形成</p> <p>3 生き生きと人が輝く都市づくり</p> <p>(1) 健康で、幸せに暮らせる社会の形成</p> <p>(2) 豊かな人間性をはぐくみ、人が輝く社会の形成</p> <p>4 豊かさと活力を生みだす都市づくり</p> <p>(1) 活力ある広島経済の創造</p> <p>(2) 多様な活動と交流を支える活力ある都市の創造</p>	<p>(構想の目標)</p> <p>・健康で、豊かな、活力とゆとりのある町づくり</p> <p>(施策の大綱)</p> <p>1. 美しい自然と調和した町づくり</p> <p>2. 都市機能を備えた町づくり</p> <p>3. 健康で、豊かな、あたたかい心のかよう町づくり</p> <p>4. 快適でゆとりのある住みよい町づくり</p> <p>5. 輝く未来に羽ばたく人づくり</p> <p>6. 希望と活力のある豊かな町づくり</p>
基本 計画	名 称	第4次広島市基本計画	第3次湯来町長期総合計画後期基本計画
	策定時期	平成11年(1999年)11月	平成14年(2002年)3月
	目標年次	平成22年(2010年)	平成17年度(2005年度)

(3) 人口・面積等の概況

区 分		単 位	広 島 市	湯 来 町	備 考
面 積	行政区域面積	km ²	742.03	162.87	平成 15 年 10 月 1 日
	都市計画区域面積		364.45	30.69	〃
	市街化区域面積		152.98	0.00	〃
人 口	国勢調査人口	人	1,126,239	7,895	平成 12 年国勢調査
	住民基本台帳 +外国人登録 ()は外国人登録者数	人	1,140,376 (14,932)	7,960 (60)	平成 16 年 2 月 29 日
	人口増加率	%	1.6	4.1	国勢調査 (平成 12 年/平成 7 年)
	人口密度	人/ km ²	1,518.4	48.5	平成 12 年国勢調査
	人口集中地区人口	人	987,542	-	〃
世 帯	国勢調査世帯	世帯	460,422	2,713	〃
	住民基本台帳 +外国人登録 ()は外国人登録者数		485,685 (8,051)	3,037 (31)	平成 16 年 2 月 29 日
年 齢 構 成 指 数	年少人口指数(注 1)	%	21.8	22.4	平成 12 年国勢調査
	老年人口指数(注 2)		20.2	42.7	
	従属人口指数(注 3)		42.1	65.1	
	老 年 化 指 数(注 4)		92.6	190.4	
産 業 別 就 業 者 数	第 1 次産業(構成比)	人(%)	7,352(1.3)	302(7.8)	〃
	第 2 次産業(構成比)		136,824(24.2)	1,453(37.5)	
	第 3 次産業(構成比)		411,140(72.7)	2,108(54.5)	
	分類不能 (構成比)		10,171(1.8)	7(0.2)	
	合 計		565,487(100.0)	3,870(100.0)	

- (注) 1 年少人口指数：15～64 歳人口に対する 15 歳未満人口の割合
 2 老年人口指数：15～64 歳人口に対する 65 歳以上人口の割合
 3 従属人口指数：15～64 歳人口に対する 15 歳未満人口と 65 歳以上人口の割合
 4 老年化指数：15 歳未満人口に対する 65 歳以上人口の割合

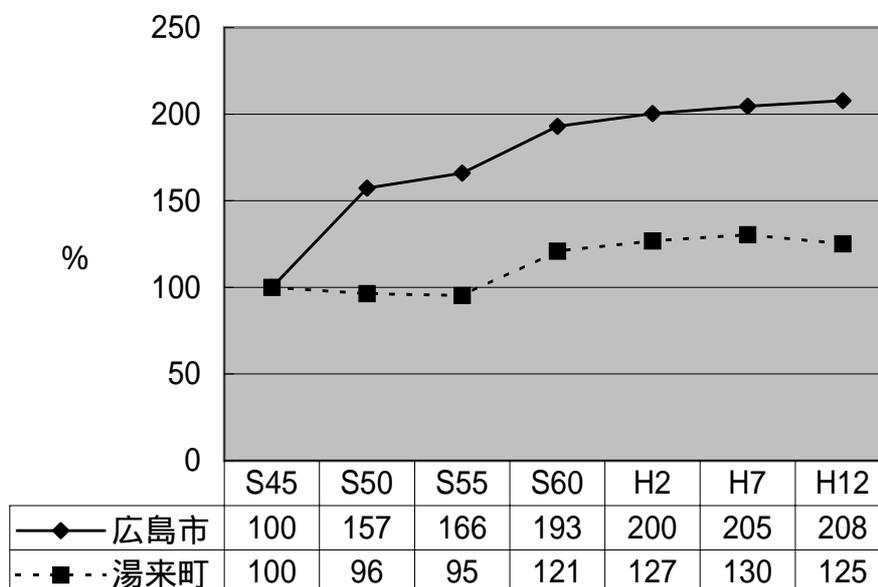
国勢調査における人口と世帯数の推移

(単位:人,世帯)

区 分	広 島 市		湯 来 町	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
S45	541,998	176,027	6,311	1,848
S50	852,611	274,779	6,084	1,852
S55	899,399	317,033	6,012	1,877
S60	1,044,118	370,898	7,630	2,322
H2	1,085,705	405,415	8,002	2,484
H7	1,108,888	434,647	8,229	2,666
H12	1,126,239	460,422	7,895	2,713

広島市の人口・世帯数は、調査時の市域による。(S46沼田・安佐、S47可部・祇園、S48安古市・佐東・高陽・瀬野川・白木、S49熊野跡・安芸、S50矢野・船越、S60五日市と合併)

人口伸び率



(注) 昭和45年を100とした伸び率